

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

広報とめ  
トゥー・ミー

# To Me

9

Sep 2023  
Vol.340



【ときめき人】  
平筒沼いこいの森見守り隊

【特集】  
大切な命を救う

【今月の表紙】  
登米市佐沼夏祭り  
(関連記事15ページ)





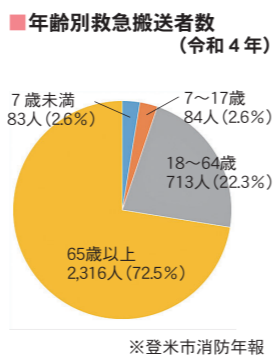
# 9月9日は救急の日 大切な命を救う

9月9日は「救急の日」です。救急業務および救急医療に対する正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的に定められました。また、この日を含む1週間は「救急医療週間」として、全国的に救急医療に関する啓発活動などが実施されます。いざというときに何ができるのかを知っておくことは、命を守るためにも必要です。本市の救急医療の現状から、今私たちにできることを考えます。

本当に必要としている人のために  
救急車の利用は適切に

## 救急搬送の現状

急な病気やけがなどにより、緊急で治療が必要な人を医療機関へ搬送する救急車。登米市で令和4年に救急車により搬送された人は3196人で、対前年比で268人増加しています。このうち、死亡・重症・中等症の傷病者の割合は全体の67.4パーセント。一方、入院の必要がない軽症の傷病者の割合は、32.6パーセントとなっています。



## 高齢者の搬送が増加

近年、特に高齢者の救急搬送件数が増え続けています。令和4年の市内の救急搬送者を年齢別にみると、65歳以上の高齢者の割合が72.5パーセントを占めています。総務省消防庁の将来推計によると、高齢化の進展などにより

## 多くの命を救うため 救急通報の適正利用を

救急需要は今後も増大する可能性が高いことが示されており、救急医療を取り巻く課題の一つとなっています。

市消防指令センターでは24時間体制で119番通報を受け付け、通報者からの確に情報を聴取し、要請のあった現場へ迅速に救急隊を出動させています。救命における119番通報は、早急な処置が必要な傷病者のもとへ救急隊を出動させ



消防本部指令課  
齋藤 和彦 係長

るためのものです。全国的に、軽い症状であるにもかかわらず救急車を呼んだり、救急車をタクシー代わりにしたりすることなどが問題となっています。重篤ではない症状やいたずらの通報は、救急隊の処置や搬送を本来に必要としている人への対応を遅らせることとなります。119番通報を適正に利用し、多くの命を救えるようにご理解をお願いします。

## 迷ったときは、 電話相談窓口へ

急なけがや病気をしたときに、救急車を呼ぶかどうか判断に迷ったら、かかりつけ医に電話するか、休日夜間は電話相談窓口(大人の患者は#7119、15歳未満の

こどもの急な発熱やけが(8000)に相談してください。専門の医療スタッフが相談に応じ、対応についてアドバイスします。ただし、緊急、重症と感じた場合は、結果的に軽症だったとしても構いませんので、迷わず119番通報をしてください。

## 消防サービスの高度化を目指して

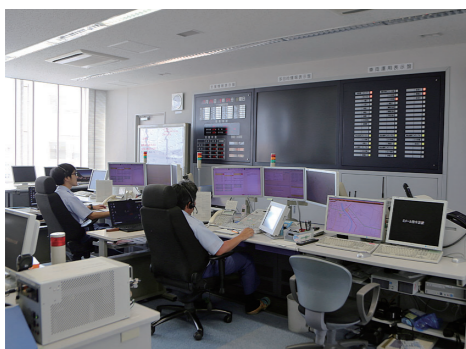
市消防本部は、複雑で多様化する消防需要に広域的に対応するため、石巻地区および気仙沼・本吉地区の消防本部と、消防通信指令に関する事務を共同して管理、執行する「宮城県東部消防指令センター」を、令和8年4月1日に運用開始する予定です。これにより、管轄6市町の119番通報を、石巻市に設置する共同消防指令センターで一手に受け、各地区の境界付近の現場には、近くにいる緊急車両を管轄を越えて出動させるなど、消防サービスの向上に取り組みます。

【問い合わせ】消防本部指令課  
☎0220(22)0119

**おとな救急 電話相談 #7119**  
【相談時間】平日：午後7時～翌日午前8時  
土曜日：午後2時～翌日午前8時  
日曜日・祝日：24時間受付

---

**子ども夜間 安心コール #8000**  
【相談時間】毎日午後7時～翌日午前8時



# 命をつなぐため 救急車と共に出動する救急隊

## ●救急隊の仕事

市消防署において現在保有している救急車は8台で、本署および5箇所の出張所に配備されています。119番通報を受けた際、要請のあった場所に一番早く到着できる救急車が出場します。

救急車には専属の救急隊員が同乗し、傷病者の応急処置をして、症状に応じた医療機関へ搬送します。救急隊ができる応急処置は限られるため、搬送する間に患者と家族などに寄り添い、精神面でも安心してもらえるように配慮しています。

多くの人の命を救うために日々の訓練や教養を積んで備えています。

## ●応急手当の重要性

通報から救急車が現場に到着するまでの時間は平均で約9分。その間にも、傷病者の救命率や社会復帰率は低下していきます。身近な人が倒れたとき、すぐに応急処置をすることで救命の確率を上げることが出来ます。

消防本部では、いざというときに必要な手当ができるように、応急手当での技術や知識を習得できる講習会を、定期的に開催しています。



消防署救急係  
渡辺 裕次郎 消防副士長



登米市民病院看護部  
阿部 恵美 看護師長

## ●救急外来の受け入れ

市立病院では、登米市民病院、米谷病院、豊里病院で救急患者を受け入れています。令和4年度は約2千人の救急患者を受け入れました。市民病院では、夜間は基本的に医師1人と看護師2人で診察や処置をしています。

受診者が複数人いる場合は、重篤な症状の人を優先して治療しています。中には、緊急手術が必要な患者も搬送されてきます。その際には自宅待機している担当医と看護師へ応援要請して対応します。社会情勢の変化や医療技術

## ●かかりつけ医を持つ

救急外来を訪れる人の中には、数日様子をみて症状が悪化してから救急外来を受診する人もいます。症状が軽いうちに、かかりつけ医を受診することで、症状の悪化は未然に防ぐことができます。病気の早期発見、早期治療にもつながるので、市民の皆さんにぜひ知ってほしいことです。

# 地域住民の 健康を支えるために



左＝登米市民病院救急外来。昼夜を問わず重篤な症状の傷病者が運び込まれます。  
右＝救急治療室で処置する医師と看護師。問診、診察後に必要な検査処置をしています。



左＝救急現場で適切に処置し速やかに搬送できるよう、訓練を実施して備えています。  
右＝救急車の中には、AEDやストレッチャーなどの救急資機材を積載しています。

## 救命活動協力者に 消防長感謝状を贈呈

写真左から、東翔さん、佐藤由紀枝さん、山谷芝枝さん、山内貴宣さん



令和5年3月、迫体育館で卓球の練習をしていた4人は、同じく練習中だった男性の異変に気が付き、119番通報を依頼。AEDの使用や心臓マッサージなどの心肺蘇生をして救急隊へバトンをつなぎました。

6月29日に消防長から感謝状を手渡された4人は、「当時は無我夢中

で、倒れている人を助けようと必死でした。男性が現在は元気に生活していると聞き、自分たちの手当てで命を救う手助けができてうれしく思います。職場の研修で事前に心肺蘇生法の講習を受けていたため、ためらいなく行動できて、人命救助につながりました」と振り返りました。

## AED設置施設マップ



市公式ホームページでは、AED(自動体外式除細動器)を設置している市内公共施設と、緊急時の利用に協力いただける民間企業などを掲載した「AED設置施設マップ」を掲載しています。ご活用ください。



市公式ホームページ「AED設置施設マップ」

## 普通救命講習会を定期開催しています

消防署では、学校や事業所などの団体を対象に応急手当での普及啓発をしているほか、個人で受講を希望する人に対して、普通救命講習会を定期的に開催しています。

中学生以上なら、誰でも受講できますので、ぜひ申し込みください。

【日時】奇数月の第3日曜日／午前9時～正午  
※次回は9月17日(日)に開催

【場所】消防防災センター(3階大会議室)

【内容】心肺蘇生法、AED使用方法、止血法など

【受講料】無料

【募集人数】30人(申込先着順)

【申込期限】開催月の第2日曜日まで

【申込方法】電話で申し込みください

※再講習を希望する人も併せて募集しています

【申し込み・問い合わせ】消防署救急係

☎ 0220(22)2119





登米市民病院  
高橋 雄大 院長

## 市民が安心して生活できる 医療体制を目指して

●市立病院の救急医療体制  
登米市民病院は、地域の中央病院として、患者を中心とした医療を実践し、地域住民が安心して健康に暮らせることを第一に考えた診療をしています。また、災害拠点病院としての役割を担い、災害時の受け入れ体制や広域的な災害が発生した地域に派遣するための医療チームなどを整備しています。

●各家庭にキットを配布  
高齢化が進む迫町山の土地では、高齢者などが持病や発作で倒れたときなど、万が一に備え、自治会員が手作りする緊急医療キット「命のボタン」を配布しています。これは、緊急時に必要な医療情報や緊急連絡先などをまとめて、ケースに収納しておくことで、駆けつけた救急隊や福祉関係者などに的確な情報を伝達するためのものです。

●地域全体で高齢者を支える  
地区内で1人暮らしの高齢者などが増える中、何かできることはないかと自治会で話し合い、地域の防災講習で学んだ「命のボタン」を取り入れることに。市域域包括支援センターや市消防本部など関連機関に相談し、連携して実施できることになりました。

●救急医療体制については、軽症から中等症の傷病者は米谷病院と豊里病院で、中等症以上の傷病者を市民病院で受け入れるといった機能分担をしています。また、広域的な連携として、石巻赤十字病院や大崎市民病院などの高度急性期医療を担う病院をはじめとする各医療機関との連携を図り、医療を提供しています。

●医療従事者の状況  
登米市は、県内でも医師不足が深刻な地域で、人口10万人でみた医師数は全国平均の半分以下となっています。このため、医師1人当たりの作業量や業務量の負担が大きい状況です。

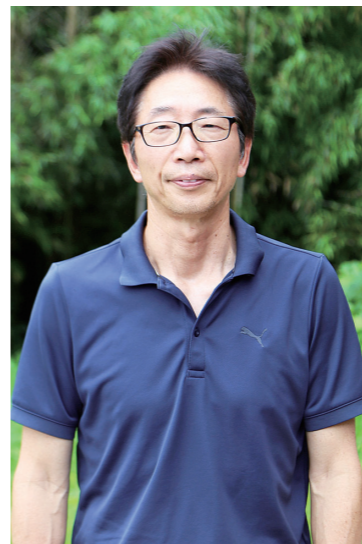
●地域を支える医療提供を  
今後さらに少子高齢化が進み、医療および介護需要はますます増加し、疾病構造も大きく変化していくことが予想されます。

一人一人の意識が支える救急医療  
少子高齢化や医療の高度化・専門化により、医療に対する市民のニーズは多様化しています。市は、今後の医療需要の変化や多様化への対応、医療・介護・福祉の連携の確立などを目指し、市民が安心して生活できるよう、地域医療体制と救急医療体制の強化に取り組んでいます。

いざというとき、地域の救急医療が住民の命を守るができるよう、私たち市民にも「救急医療の担い手」としてできることがあります。

救急車を適切に利用すること、かかりつけ医を持つこと、応急手当を学び身に付けること。一人一人の意識を変え行動することが地域の救急医療を支える力になります。

安全・安心な暮らしができるように支え合い、笑顔で健康に生活できるまちを、共に目指していきましょう。



迫町山の上区長  
芳賀 敏 さん

●住民の声  
もし自分が倒れたとき、健康状態や緊急時の連絡先など医療従事者にどう伝えようか不安に思うときがありました。「命のボタン」があることで安心な生活を送ることができています。体調を気にしてくれる区長さんや近隣の皆さんとの交流など、地域のつながりが固く、1人暮らしの私にとっては心強く感じています。

●緊急時に対応してもらえないようにと、山の上自治会の全世帯に配付しました。「命のボタン」が、少しでも住民の不安を取り除くとともに、地域のつながりをより強固なものにし、平穏な生活を送れるよう、これからも取り組んでいきます。

また、この活動を多くの人に知ってもらい、ほかの地域にも広がっていつてもらえればと考えています。



【命のボタン】緊急時に必要な情報を収納し、冷蔵庫内などに置いておきます。

## 地域で取り組む 高齢者救急医療の支援活動

### 救急医療を本当に必要とする人が安心して治療を受けるために 私たちができること

#### 1 かかりつけ医を持つ

かかりつけ医とは、風邪などの病気による体の不調や健康に不安を感じたときに相談できる身近な診療所などの医師のことです。体の不調を感じたときに早めにかかりつけ医に相談することで、症状の悪化を未然に防ぐことにつながります。

#### 2 できるだけ診療時間内に受診する

救急外来を「夜間のほうが空いているから」などの理由であえて夜間や休日に利用する人がいます。救急外来は時間外に受診できる便利な医療機関ではありません。症状が現れたと思ったら、専門医がいる日中に受診するように心がけましょう。

#### 3 夜間休日の急病は当番医などへ

夜間や休日の緊急時に、比較的軽微な場合は、まず「休日当番医」などを受診してください。休日当番医などの情報は、「広報とめ」の健康コーナーおよび市公式ホームページに掲載していますので、活用してください。

#### 4 救急車を適正に利用

消防庁では、「救急通報のポイント」などを紹介しています。急な体調不良やけがに備えて、確認しておきましょう。



消防庁「救急車利用マニュアル」

■指定管理者を募集する施設

施設の名称	問い合わせ(担当部署)
迫有機センター、とよま有機センター、中田有機センター、豊里有機センター、石越有機センター、南方有機センター(本センター、サブセンター)	産業経済部農政課 ☎ 0220(34)2713
南方産地形成促進施設	産業経済部地域ビジネス支援課 ☎ 0220(34)2706
平筒沼ふれあい公園	まちづくり推進部 観光シティプロモーション課 ☎ 0220(23)7331
登米市伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター、迫野鳥観察館	市民生活部環境課 ☎ 0220(58)5553
登米市豊里運動公園、豊里花の公園	教育委員会教育部生涯学習課 ☎ 0220(34)2698
迫梅ノ木公園、迫佐沼公園(光ヶ丘球場)、迫大東公園	
登米市中田総合体育館、登米市中田球場、登米市諏訪公園	
登米市石越体育センター、登米市石越総合運動公園	
登米市迫体育館、登米市迫武道館、登米市新田総合運動場	
登米市津山林業総合センター、登米市津山若者総合体育館、登米市津山運動広場	
登米市民プール	

●**下水道に早めの接続を**  
下水道事業は、生活環境の改善、公共用水域の水質保全などのため実施しています。下水道が整備されている地域では、下水道に接続することで、生活排水などによる悪臭や害虫の発生が抑えられ、快適な生活と水路や河川の水質向上につながります。公共用水域をきれいにし、自然環境を保全するためにも、早めの接続をお願いします。

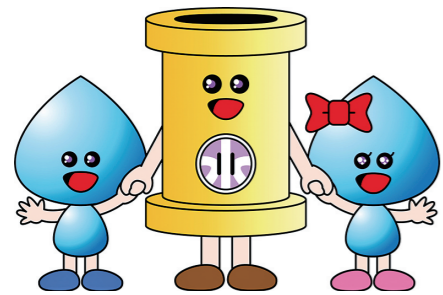
●**宅内排水設備設置工事費補助金**  
次の条件を満たしている人に補助金を交付します。  
【対象工事】①公共下水道事業、農業集落排水事業②最上流端から汚水ますまでの間の30㍍を超える区間に係る工事。ただし、枝線は除く③浄化槽整備推進事業④32㍍を超える区間に係る工事

【補助金額】1㍍につき5千円／限度額30万円  
【対象期間】下水道の使用可能後5年間  
【補助対象建築物】一般住宅および店舗付住宅

●**融資あっせん**の金額【建物1棟当たり120万円以内】  
【対象者】①市税などを滞納していない人②下水道受益者負担金(分担金の滞納がない人③月々の返済ができる所得のある人④市税などの滞納がない保証人(1人)もしくは金融機関指定の保証機関の保証を受けられる人

【取扱金融機関】みやぎ登米農協、仙北信用組合、七十七銀行、石巻商工信用組合、仙台銀行、一関信用金庫、東北労働金庫、新みやぎ農協、石巻信用金庫  
※宅内排水設備設置工事費補助金と水洗便所改造資金融資あっせん制度を併用する場合は、宅内排水設備設置工事費補助金を差し引いた額が融資あっせん額となります

●**共通事項**  
それぞれ申請が必要です。詳しくは問い合わせください。  
【問い合わせ】上下水道部経営総務課(業務係)  
☎ 0220(52)3311



市下水道事業キャラクター「水守さん」  
市水道事業キャラクター「ジョーくん」と「スイちゃん」

Information 03

市内公共施設の指定管理者を募集

公の施設を管理運営する指定管理者(団体)を募集します。個人は応募できません。  
【申請期限】9月8日(金)午後5時  
【募集要項・申請書】指定管理者を募集する施設の担当部署

で配布します  
【指定期間(予定)】令和6年4月1日～令和11年3月31日  
【選定方法】書類審査およびヒアリング審査で候補者を選定し、市議会での承認後、指定管理者に指定します

■地域協働まちづくり事業補助金活用事例



Information 04

環境保全のために下水道に接続しましょう

市は、海外姉妹都市などからの青少年訪問団や、ホームステイを希望する外国人を受け入れる家庭の事前登録制度「登米市国際交流ホストファミリーバンク」の登録者を募集しています。  
ホストファミリーに登録して、身近な国際交流を体験してみませんか。  
【登録要件】次の全てに該当する家庭①登録申請しようとする代表者が18歳以上②世帯人数が2人以上で、世帯全員同意を得ている③世帯構成員の1人以上が市内に居住または在勤、在学している④宿泊、食事、送迎などの基本的な日常生活の支援を提供できる  
【登録方法】ホストファミリーバンク登録申請書に必要事項を記入の上、提出してください。申請は随時受け付けています  
【受け入れまでの流れ】①市から登録家庭へ受入依頼通知を送付②登録家庭は受け入れの可否を市へ連絡③市で受け入れが可能な家庭と調整し、受入家庭を決定

【申し込み問い合わせ】まちづくり推進部観光シティプロモーション課(ふるさと定住係)  
☎ 0220(23)7331  
FAX 0220(22)9164  
☐ tome-life@city.tome.niyagi.jp  
ホ(ホミ)ム(ミ)式(シ)公(キ)式(キ)市(シ)ム(ミ)域(キ)協(キ)働(キ)補(キ)助(キ)金(キ)



Information 01

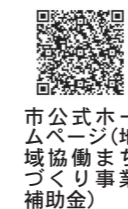
地域協働のまちづくり事業をサポート

地域協働まちづくり事業は、市民と市による協働のまちづくりを推進するため、市内に活動拠点を有する市民活動団体が、地域の活性化に向けた自主的な活動をする経費に対し、市が支援をすることを目的に実施しています。  
令和6年度に実施する地域の特色を生かしたまちづくりや地域課題を解決するための事業を募集します。

動宗教活動または営利を目的としない  
【事業期間】単年度。ただし、事業の性質上、実施期間が複数年度にわたる場合は2年度まで  
【補助金額】補助率2分の1以内で、50万円を上限に補助。事業期間が複数年度にわたる場合、2年度目は3分の1以内  
【申込期限】10月2日(月)※事前に相談ください  
【申し込み問い合わせ】まちづくり推進部市民協働課(市民活動支援係)  
☎ 0220(22)2173

■対象経費の例

項目	対象経費
人件費	講師の謝金(交通費含む)
旅費	講師の招へい活動に要する交通費
需用費	事務用品費、チラシ作成費、食料費(会議の茶菓代、講師への弁当代)
役務費	郵便料、切手代、保険料
委託料	団体が実施困難な事務の委託料



ホ(ホミ)ム(ミ)式(シ)公(キ)式(キ)市(シ)ム(ミ)域(キ)協(キ)働(キ)補(キ)助(キ)金(キ)

Information 02

ホストファミリーバンク登録者募集



Information 05

投票立会人を募集します

市選挙管理委員会は、令和5年10月22日執行の宮城県議会議員一般選挙の投票立会人を募集します。

【費用弁償】①期日前投票所の投票立会人 1回9600円  
②投票日の投票所の投票立会人 1回1万9000円

※「選挙長等の費用弁償に関する条例」に基づき支給

【募集人数】1投票所2人 ※募集人数を超えた場合は市選挙管理委員会で選考し、応募者全員に通知します

【応募方法】所定の応募用紙に必要事項を記入して、居住地の総合支所市民課地域振興係



に提出してください。応募用紙は、各総合支所と選挙管理委員会に備え付けているほか、市公式ホームページからダウンロードできます

【応募期限】9月1日(金)

【問い合わせ】市選挙管理委員会事務局  
0220(22)2198

Information 06

暮らしやすい未来のために 住宅・土地統計調査

総務省統計局では、10月1日を基準日として「令和5年住宅・土地統計調査」を実施します。

この調査は、住生活に関する最も基本的な調査で、全国約340万世帯を対象とした大規模調査です。

調査をお願いする世帯には、9月下旬から調査員が調査書類の配布に伺いますので、インターネット回答のほか、紙の調査票を郵送または調査員に提出する方法により回答をお願いします。なお、この調査では、便利なインターネット回答をお薦めしています。スマートフォン・タブレット端末にも対応していますので、ぜひご利用ください。



【問い合わせ】まちづくり推進部まちづくり推進課(まちづくり推進係)  
0220(22)2147

Information 08

法務大臣から 人権擁護委員に委嘱

主藤安子さん(東和町・新任)、千葉幸毅さん(東和町・再任)が7月1日付けで、法務大臣から人権擁護委員の委嘱を受けました。人権擁護委員は、人権に関する相談を受けたら、学校で人権教室を開いたりするなど、命の大切さや思いやりの心についての理解を深めてもらうための活動をしています。これは人権問題ではないかと感じたら、一人で悩まずにご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守られます。

【相談電話】月々金曜日/午前8時30分〜午後5時15分  
▼みんなの人権110番 0570(003)110  
▼女性の人権ホットライン 0570(070)810  
▼子どもの人権110番 0120(007)110

【問い合わせ】市民生活部市民生活課(市民総務係)  
0220(58)2118

Information 10

牛の飼養管理技術を競う 第16回市畜産共進会開催

市畜産共進会が7月5日、JAみやぎ登米南方農畜産物集出荷場で開かれました。共進会は、地域の家畜改良意欲の高揚や、飼養管理技術の向上と普及に努めることを目的に毎年開催しており、今年には延べ45頭が出品されました。上位入賞牛は県共進会の出品牛候補になります。結果は次の通りです。

【チャンピオン賞】(経産) Ⅱだ いじょうさい号 / 石川信喜 (南方町)

【最優秀賞】Ⅰ区(若雌の1) Ⅱいちこ号 / 伊藤功一(東和町) Ⅱ2区(若雌の2) Ⅱひさかつ号 / 岡田健雄(迫町) Ⅲ3区(経産) Ⅱだ いじょうさい号 / 石川信喜(南方町) Ⅳ4区(高等登録群) Ⅱ迫町和牛改良組合(かなのこ号 / チバズファーム、れめき号 / チバズファーム)

Information 09

優良工事施工業者、技術者を表彰

令和4年度に完成した優良な工事の施工業者、技術者の表彰式が7月21日、迫公民館で開かれました。(敬称略)

【登米市優良工事施工業者等表彰】施工業者(代表者)名 Ⅱ技術者名 Ⅲ浅野工務店(浅野拓治) Ⅳ本田竜也 Ⅴ近代建設登米営業所(山内修一) Ⅵ小野寺桂 Ⅶ鈴木建設(鈴木隆一) Ⅷ

富島和哉 Ⅸ大伸建設(佐藤剛) Ⅹ菊地浩幸 Ⅺ日新クリエーション(鈴木哲也) Ⅻ木川田秀男 Ⅼ門間工務店(門間幸一) Ⅽ佐々木宏行

【特別表彰】10年連続受賞 Ⅾ大伸建設(中田町)

【問い合わせ】契約検査室(検査係)  
0220(22)2097



チャンピオン賞/だ いじょうさい号

【団体賞】第1位 Ⅱ迫町和牛改良組合、第2位 Ⅱ南方町和牛改良組合、第3位 Ⅱ中田町和牛改良組合

【日時・場所】①肉用牛の部 Ⅱ9月9日(土) / みやぎ総合家畜市場(美里町) ③乳用牛の部 Ⅱ9月28日(木) / みやぎ総合家畜市場(美里町) ④肉豚の部 Ⅱ10月27日(金) / 宮城県食肉流通公社(米山町)

【問い合わせ】産業経済部農政課(畜産振興係)  
0220(34)2713

▼宮城県畜産協会  
022(298)8473

Information 07

市職員募集

ともに登米市を支える仲間を募集します

申込期限: 9月22日(金) ※当日消印有効 第1次試験: 10月15日(日)

試験区分	職種	採用予定者数	受験資格	申し込み・問い合わせ
上級 (大卒程度)	保健師	3人程度	昭和63年4月2日以降生まれで、保健師の資格を持つ人(令和6年4月30日までに取得見込を含む)	総務部人事課 (人事研修係) ☎0220(22)2145 市公式ホームページ「職員採用情報」
	建築	1人程度	昭和63年4月2日以降生まれで、学校教育法による大学(短期大学を除く)において正規の建築に関する課程を修めて卒業した人(令和6年3月31日卒業見込を含む)	

※会場や試験内容など、詳細は市公式ホームページでお知らせします

募集要項・申込書の入手方法

- 【ダウンロード】市公式ホームページ「職員採用情報」からダウンロードできます
- 【郵送での請求】封筒の表に「職員採用試験申込書請求」と朱書きし、次の2点を同封してください
  - ①宛先を明記した返信用封筒(A4版が入る大きさに120円切手を貼付したもの)
  - ②連絡先(電話番号)を明記した任意の用紙
- 【市役所窓口】総務部人事課(迫庁舎2階)または各総合支所市民課で配布します(平日/午前8時30分〜午後5時15分)

市中学校駅伝 競走大会結果

7月6日開催

(1位のみ掲載)

- 男子の部 Ⅱ佐沼A Ⅱ1時間2分48秒
- 女子の部 Ⅱ佐沼A Ⅱ52分47秒
- 男子区間 Ⅱ1区 Ⅲ1分34秒 Ⅱ2区 Ⅲ1分34秒 Ⅱ3区 Ⅲ1分34秒 Ⅱ4区 Ⅲ1分34秒 Ⅱ5区 Ⅲ1分34秒 Ⅱ6区 Ⅲ1分34秒 Ⅱ7区 Ⅲ1分34秒 Ⅱ8区 Ⅲ1分34秒 Ⅱ9区 Ⅲ1分34秒 Ⅱ10区 Ⅲ1分34秒
- 女子区間 Ⅱ1区 Ⅲ1分42秒 Ⅱ2区 Ⅲ1分42秒 Ⅱ3区 Ⅲ1分42秒 Ⅱ4区 Ⅲ1分42秒 Ⅱ5区 Ⅲ1分42秒 Ⅱ6区 Ⅲ1分42秒 Ⅱ7区 Ⅲ1分42秒 Ⅱ8区 Ⅲ1分42秒 Ⅱ9区 Ⅲ1分42秒 Ⅱ10区 Ⅲ1分42秒
- 伊藤美結(津山A) 8分24秒 Ⅱ5区 Ⅲ3分11秒 Ⅳ名嘉原姫奈(東和A) 11分54秒



### 9月の献血日程

2日(土)、17日(日)  
▶イオンタウン佐沼  
10:00～11:45  
13:00～16:30



※日程は変更になる場合があります。最新の日程については、市公式ホームページをご覧ください。下記まで問い合わせください。

【問い合わせ】  
市民生活部健康推進課  
(保健推進係)  
☎ 0220(58)2116

自殺予防  
**仙台いのちの電話**  
誰にも言えない気持ち  
聞かせてください。  
☎ 022(718)4343

ひきこもり  
**ひとりで悩まないで**  
宮城県ひきこもり地域支援センター  
☎ 0229(23)0024

### 子ども夜間安心コール

●電話番号  
#8000  
(プッシュ回線の固定電話、携帯電話から)  
☎ 022(212)9390  
(プッシュ回線以外の固定電話から)  
●相談時間  
毎日午後7時～翌朝午前8時

### 高齢者の相談窓口 地域包括支援センター

■9月は世界アルツハイマー月間です

認知症の理解を深め、正しい知識を学び、介護家族と本人への支援を考え、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指しましょう。

認知症は誰もがかかる可能性のある病気です。日々の生活で認知症予防のための「5つのポイント」を実践しましょう。

①生活習慣病を予防・治療する  
②適度に体を動かす  
③達成感を味わう  
④他人と交流する  
⑤趣味活動などを無理なく続ける

認知症に関して、何か聞いてみたいことがあるがありましたら、気軽にお住まいの地域包括支援センターまで問い合わせください。

### 世界アルツハイマーデー啓発運動

9月21日は「世界アルツハイマーデー」です。市では、世界アルツハイマーデーに合わせ、認知症地域支援推進員、認知症活動協力者と協力し、認知症支援に関するチラシの配布などの啓発活動を実施します。

【問い合わせ】福祉事務局長 介護課(地域包括支援係)  
☎ 0220(58)5551

### 高齢者の相談窓口

地域包括支援センター	電話番号
迫地域	0220(22)1152
中田・石越地域	0220(34)7611
石越分室	0228(34)4151
東和・登米地域	0220(53)4811
登米分室	0220(52)5090
米山・南方地域	0220(29)5821
南方分室	0220(58)4311
津山・豊里地域	0225(68)3780
豊里分室	0225(76)4811

### 9月の休日当番医

日	休日急患当番医	歯科休日当番医
3日(日)	二瓶内科胃腸科医院(迫町) ☎ 0220(22)6508	まつお歯科医院(迫町) ☎ 0220(28)2311
10日(日)	小出医院(登米町) ☎ 0220(52)2303	東和歯科医院(東和町) ☎ 0220(53)3811
17日(日)	米谷病院(東和町) ☎ 0220(42)2007	登米歯科診療所(登米町) ☎ 0220(52)3420
18日(祝)	サンクリニック(南方町) ☎ 0220(29)6060	浅野歯科医院(南方町) ☎ 0220(29)6036
23日(土)	千葉医院(迫町) ☎ 0220(22)3725	おおさか歯科医院(中田町) ☎ 0220(34)6668
24日(日)	八嶋中央診療所(石越町) ☎ 0228(34)2013	プレミアム歯科(南方町) ☎ 0220(23)2038

●診療時間 9:00～12:00、13:30～17:00  
【休日急患当番医】  
●第2次診療 登米市民病院 ☎ 0220(22)5511  
【問い合わせ】登米市医師会 ☎ 0220(22)2084  
※月～金曜日(休日を除く)  
【歯科休日当番医】  
【問い合わせ】市民生活部健康推進課 ☎ 0220(58)2116  
※当番医は、変更する場合があります。各医療機関に確認の上、受診ください

**石巻市夜間急患センター**  
●診療科目 内科、外科、小児科 ※原則応急処置まで  
診療時間など、詳しくは問い合わせください  
【問い合わせ】石巻市夜間急患センター(石巻赤十字病院敷地内) ☎ 0225(94)5111

### 9月のこころの相談

日	場所・受付時間・担当
4日(日)	中田保健福祉会館 13:30～15:30 臨床心理士・公認心理師
26日(火)	米山総合支所 9:30～11:30 臨床心理士・公認心理師

臨床心理士などが相談に応じます。安心してご相談いただくため、完全予約制です。相談日前日(土日、祝日を除く)まで、下記の総合支所まで申し込みください。  
●迫町域にお住まいの人  
迫総合支所 ☎ 0220(22)5554  
●中田・石越町域にお住まいの人  
中田総合支所 ☎ 0220(34)2314  
●登米・東和町域にお住まいの人  
東和総合支所 ☎ 0220(53)4113  
●米山・南方町域にお住まいの人  
米山総合支所 ☎ 0220(55)2112  
●豊里・津山町域にお住まいの人  
豊里総合支所 ☎ 0225(76)4113

**登米市民病院小児科救急診療**  
●日曜日:受付時間9:00～16:30  
●夜間:小児(6歳以上)の診察を希望する場合はご連絡ください  
【問い合わせ】登米市民病院 ☎ 0220(22)5511

### 認知症サポーター ステップアップ講座

認知症の人や家族を支援するため、認知症への理解を深め、支援方法を学ぶステップアップ講座を開催します。

【日時】9月14日(木)午後1時30分～3時30分

【場所】市役所南方庁舎(2階シアターホール)

【対象者】認知症サポーター養成講座修了者

※オレレンジリングかサポーターカードを持参ください

【定員】25人(申込先着順)

【参加費】無料

【申込期限】9月7日(木)

【申し込み・問い合わせ】福祉事務局長 介護課(地域包括支援係)

☎ 0220(58)5551

### お酒やDVなどの悩み 抱えていませんか

### アルコール等依存症家族教室・個別相談

アルコールやギャンブルなどの問題を抱える人の家族を対象に、病気の治療や回復の過程、依存症による問題行動への対応についての教室、本人や家族を対象にした個別相談を実施します。

【日時】9月6日(水)／家族教室  
午後1時30分～3時、個別相談  
午後3時～4時30分

【相談員】精神保健福祉士

【女性のための出張相談】DVやモラハラ、離婚、虐待、パワハラ、セクハラ、家庭の問題、シングルマザーの子育てなどで悩む女性のための面接相談を開催します。

【日時】9月20日(水)午前10時30分～午後4時(1人約50分)

【相談員】NPO法人ハーティ 仙台女性相談員

【申込期限】9月19日(火)午後3時

※匿名可、託児不可

### 共通事項

【場所】石巻保健所登米支所

【相談料】無料(要電話予約)

【申し込み・問い合わせ】石巻保健所登米支所(母子・障害

班)  
☎ 0220(22)6118

### 妊娠・出産・子育て 応援します

### 子育て支援講座

体を動かしてリフレッシュしましょう。

【内容】子育てワンポイントレッスン、タッチケアなど

【日時】9月6日(水)午前10時30分～11時30分(要電話予約)

【場所】米山子育て支援センター  
【申し込み・問い合わせ】米山子育て支援センター  
☎ 0220(55)2313  
●よりそい・ほっと相談  
妊娠中や出産、育児について、個別相談に応じます。

【場所】中田子育て支援センター  
【申し込み・問い合わせ】市民生活部健康推進課(地域保健係)  
☎ 0220(58)2116  
●わくわくマタニティサロン  
赤ちゃんを健康に生み育てるための正しい知識を身に付けましょう。パパの参加も歓迎します。

【日時】9月26日(火)午前10時～11時30分(要電話予約)  
【場所】南方子育てサポートセンター  
【申し込み・問い合わせ】南方子育てサポートセンター  
☎ 0220(58)5558  
●こんにちは赤ちゃんサロン  
妊娠、出産、育児のこと、お母さん同士で話ませんか。

### ぼくわたし むし歯ないんだよ

3歳6カ月健診でむし歯のなかった  
こどもたち(7月応募受付分)



及川 琉愛くん (迫町三方島) 及川 礼愛ちゃん (迫町三方島)



上田 唯人くん (迫町大網南) 瀬瀨 真央ちゃん (迫町八幡) 富士原悠斗くん (迫町山の内) 大野 礼奈ちゃん (中田町駒牽)



久保田唯丞ちゃん (中田町大網) 菅原 玄理くん (中田町茶畑) 千葉 瑠杏ちゃん (中田町茶畑) 加藤 奏汰くん (豊里町保手)



千葉茉莉亜ちゃん (豊里町仲町) 伊東 楓くん (米山町道土地) 大友 翔太くん (米山町六軒屋敷) 大友 遼太くん (米山町六軒屋敷)



佐藤 芽依ちゃん (米山町道土地) 佐藤 柚羽ちゃん (米山町節根) 大平 一輝ちゃん (南方町沼崎) 佐藤 玲花ちゃん (南方町新高石)

## 気持ちつながる言語

### 手話学び互いに支え合う

「登米市手話教室」が7月25日から8月8日まで、全5回にわたり市役所南方庁舎で開かれました。

教室は、聴覚障がい者が安心して暮らすことができるように、手話の大切さを学びながら聴覚障がい者への理解を深め、挨拶などの簡単な手話表現を習得することを目的に開催。参加した遠藤美枝子さん=追町八幡=は「障がい者支援のボランティアに参加していて、耳の聞こえない人と手話でコミュニケーションが取りたいと思ったので受講しました。教室のほかにも手話サークルに参加して、簡単な会話ができるようになりました」と話しました。



参加者は、手話での自己紹介や道を聞かれた場合の対応などについて、真剣な表情で学んでいました。

## 笑顔はじける梅雨祭

### 祭り通して南方地域交流

「ふれあいあじさいまつり」(南方コミュニティ運営協議会主催)が7月1日、大嶽山交流広場で開かれました。

祭りは、地域の団体や住民の連帯感と世代間交流を深めることを目的に開催。ステージ発表では南方地区の小中学生が大嶽太鼓、大黒舞、畑岡神楽、吹奏楽を披露したほか、水ヨーヨーすくいなど親子で楽しめるふれあいコーナーが設けられ、会場は多くの来場者でにぎわいました。家族で来場した白鳥絵理さん(40)=南方町沢田=は「こどもの笑顔を見られたことや地域の人たちと交流できてうれしかったです」と話しました。



中学生が奏でる吹奏楽の音色が会場に響き渡り、来場者は聞き入っていました。

## ふるさと結ぶ架け橋

### 在京町人会代表者が集う

「登米市在京町人会連絡協議会総会」が7月28日、東京都上野で開催されました。

協議会は、市と首都圏との交流を目的として在京町人会代表者で組織されています。総会では、議案審議に続き、首都圏内のホテルなどで開催される市産食材PR事業や、昨年度制定した市子ども・子育て条例の紹介、ふるさと応援寄附金の取り組みなどについて情報共有したほか、各町人会から近況について報告がありました。在京町人会は、今後もふるさと登米市とのパイプ役として、各会の活動を通して市の発展に協力していくことを確認し閉会しました。



総会に出席した在京町人会代表者。ふるさとへの思いを共有しながら、交流を深めました。

## 歌声響き聴衆を魅了

### 夏の山唄全国大会を開催

「第17回夏の山唄全国大会」(宮城県仙北民謡協会主催)が7月9日、米山公民館で開催されました。

農村に伝わる朝草刈りの仕事唄「夏の山唄」を後世に継承し、地域の文化振興を図るため開催しているこの大会。少年少女、一般、熟年の3部門に、全国各地から合わせて136人が出場し、日頃の練習の成果を披露しました。出場者の伸びやかな歌声に、観客から大きな拍手が送られました。松本莉奈さん(20)=福島県福島市=は「小学生の時から出場していて、今回初めて一般の部で歌いました。少し失敗してしまったので、来年に向けてこれからも練習したい」と話していました。



アトラクションで民謡を披露した米山東小の児童。4年ぶりの大会開催を待ちわびた観客が、会場を埋め尽くしました。

## まちに活気と躍動を

### 佐沼夏祭り観客ひしめく

「登米市佐沼夏祭り」(同実行委員会主催)が7月30日、追町佐沼地区で開かれました。

郷土芸能「佐沼鹿踊」を皮切りに、みこしや山車とともに法被や装束を着た参加者の威勢の良いかけ声通りに響き渡り、手踊りパレードでは総勢160人の踊り手が会場をにぎわせました。飲食ブースなどの規制を緩和しての開催となった今年、特設ステージイベントや立ち並んだ屋台は、開放感に包まれた人たちが混み合いました。祭りを締めくくる花火は午後7時30分にスタート。約4,600発が夜空を彩り、大勢の観客が次々に打ち上げられる大輪の花火に歓声を上げていました。



登米市で35.8℃を記録し猛暑日となった祭り当日。熱気に包まれる中、会場は祭りを楽しむ人の笑顔であふれました。

## 団体戦で交流楽しむ

### パークゴルフ市長杯開催

「第3回登米市長杯高森あじさいカップ・パークゴルフ大会」は7月18日、高森パークゴルフ場で開かれ、市内外から37チーム148人が参加しました。

大会は、1チーム4人組の団体戦で競い、初心者から上級者まで楽しめる変化に富んだコースの魅力を体感しながら、パークゴルフを通じて参加者相互の交流を図ることが目的。4位に入賞した「登米郡団」チームの佐藤新市さん(71)=中田町浅水新田=は「第1回、第2回と優勝できたので、3連覇を狙っていましたが残念でした。次回は優勝できるように頑張りたいです」と意気込みを語りました。



プレー中は、笑い声や歓声が上がると、上位入賞を目指しながらも楽しみながらプレーしていました。





## ぼくとわたしの夢

### 櫻井 陽太 さん

さくらい・ひなた 登米小5年  
登米町・金谷

#### 二つの夢

ぼくの夢は、地震と津波の研究者になることです。気仙沼にある祖父の会社が東日本大震災の津波と、その後の火災で大きな被害を受けました。祖母から、ふるさと一面が真っ赤に染まっていたと聞いて心に残っています。当時の映像や祖父の体験談を聞き、二度とこのような被害を出さないように、研究者になって多くの人を助けたいです。そのために、自主学習で過去の災害や地震のメカニズムなどを調べて、目標は東北大学の災害科学国際研究所に入ることです。ぼくは登米市が大好きなので、進学や就職で離れても、必ず戻って学んだことを生かして地域の役に立ちたいです。

また、ぼくは登米謡曲会で能を学んでいます。能の大きな動きと抑揚のある発声の奥深さに魅力を感じました。ぼくのもう一つの夢は、次の世代の担い手として、登米能を大切に受け継いでいくことです。



### 渡辺

雪子さん(88)  
静一さん(89)

11月入籍  
1957年(昭和32)年  
登米町・八丁田

## 寄り添い半世紀

結婚して65年、とても幸せです

#### ★出会いは

【静一】姉の嫁ぎ先から紹介してもらって、親同士が結婚を決めてきたんだよ。結婚式までほとんど話したことがなかったね。

【雪子】嫁いでは、おしゅうとめさんに一つ一つ、農家の仕事を教えてもらったんだ。

#### ★お互いの印象は

【静一】どんなに大変なときでも、文句も言わず黙ってついてきてくれた。感謝しているよ。

【雪子】おとなしくて真面目で、よく働く人。

★印象に残っている思い出は  
【静一】一緒にアメリカや中国へ旅行したこと。とっても楽しくてね、よく覚えているよ。

#### ★これからしたいことは

【二人】ひ孫たちの成長を見られることが一番うれしい。これからも、家族と楽しい時間を過ごせるように、体の調子を維持していきたいね。

## まちの若い衆

### 伊藤 蓮 さん(21)

いとう・れん 米山町・平埜

★身長と血液型 178センチでA型です。

★現在は ふすまや障子を中心とした表具の修繕や内装を扱う伊藤表具内装店を家族で営んでいます。家業を継ぎたいと思ったのは、こどもの頃から祖父と父の仕事をしている姿を見て尊敬していたのと、仕事に対する考え方に共感したからです。まだまだ覚えることが多くて大変ですが、経験を積んで技術を身に付けていきたいです。

★自分の性格 友人からは、マイペースで真面目だと言われますね。

★休日の過ごし方は 家でのんびりすることもあります。高校まで柔道をしていたので、小中学生への指導を手伝っています。

★趣味は ドライブや運動をすることが好きで、今は筋トレを頑張っています。

★好きなタイプは 自分の意見を持っていて、お互いの意見を尊重できる人がいいですね。

★今やってみたいことは 格闘技が好きなので、ブラジリアン柔術やキックボクシングをしてみたいです。

★登米市について一言 ここまで成長できたのは、家族と地域の人たちのおかげだと思っているので、これからも地域の人たちと関わりを持って、登米市の発展に役立ちたいと思っています。



## わが家のアイドル

#### ～「わが家のアイドル」を募集～

【応募方法】右のQRコードを読み込み、電子申請してください  
※申込状況により、掲載まで数カ月かかる場合があります  
【問い合わせ】まちづくり推進部まちづくり推進課(広報係)  
☎ 0220(22)2147



電子申請QRコード



鈴木 琉雅くん(11カ月)

2022年8月29日生まれ  
中田町・弥勒寺南  
裕磨さんの三男

日々の成長にびっくりさせられてるよ。いっぱい遊んで笑って、たくましく育ってね。



伊藤 裕好くん(11カ月)

2022年8月26日生まれ  
中田町・十文字  
裕美さんの長男

カメラを向けると変顔したり、ニコニコしたり。0歳ですが周りの子よりだいぶ大きいビッグベビーです。

佐藤 咲久くん(1歳)

2022年3月27日生まれ  
中田町・新田  
良一さんの三男

大好きなお兄ちゃんたちに囲まれて毎日楽しいね。これからもすくすく元気に大きくなってね。



木村 健太郎くん(2歳)

2020年11月3日生まれ  
豊里町・横町  
有希さんの長男

お友だちいっぱい作って、たくさん遊んで大きくなってね。



# 情報場 Information

催し

## 第21回登米市 絵本原画展を開催

「あかいてぶくろ」「林木文／岡田千晶絵」「たくはいびーん」(林木文作／出口かずみ絵)の原画を展示します。昨年出版されたこどもの本の展示や、おはなし会も開催します。ぜひご来場ください。

【日時】8月30日(水)～9月2日(土)／午前9時30分～午後5時(初日は午前10時30分開場、最終日は午後3時まで)  
【場所】登米祝祭劇場(小ホール)  
【入場料】無料  
※団体で「おはなし会」に参加する場合は、予約が必要です  
※最終日の午後2時15分から「お楽しみ抽選会」を開催。抽



選で20人に作者のサイン入り絵本をプレゼントします  
【問い合わせ】迫図書館  
☎ 0220(22)9820

## 懐古館企画展 「東北、きらめく名刀」

東北地方の刀剣類を展示します。地域に根差して作刀に励んだ刀工の作品を、この機会にぜひご鑑賞ください。  
【日時】(前期)9月9日(土)～10月29日(日)、(後期)10月31日(火)～12月22日(金)  
【場所】登米懐古館  
【入館料】大人400円、高校生300円、小中学生200円



【申し込み・問い合わせ】迫地域包括支援センター  
☎ 0220(22)1152

## 登米市こどもまつりを 開催します

音楽コンサートやマジックショー、絵本読み聞かせなど、イベント盛りだくさんで開催します。ぜひご来場ください。  
【日時】9月24日(日)午前9時

### 住宅入居者を募集

#### 募集する住宅

市営住宅	豊里横町住宅5号(平成26年) (豊里町横町25番地1) ▶ 募集戸数=1戸(2LDK) 家賃月額=1万6700円～2万4800円 駐車場利用は1台のみ(別途2千円)
市営住宅	津山横山本町住宅D-7号(平成19年) (津山町横山字本町121番地26) ▶ 募集戸数=1戸(2DK) 家賃月額=1万9600円～2万9200円 駐車場利用は1台のみ(別途2千円)

【入居資格】住宅に困っている世帯  
※市営住宅は低所得世帯であることなどの入居要件があります  
※詳細は住宅都市整備課または各総合支所市民課に備え付けの募集要項を確認ください  
【申込期限】9月1日(金)※期限厳守・郵送不可  
【申し込み】各総合支所市民課、住宅都市整備課  
【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(住宅係)  
☎ 0220(34)2316

### 夜間納税相談窓口 (9月・10月分)

【日時】9月28日(木) 午後8時～午後10月26日(木) 午後7時～  
【場所】総務部税務課(迫庁舎1階)  
【問い合わせ】  
総務部税務課(徴収対策係)  
☎ 0220(22)2169

### マイナンバーカード 申請サポート

【日時】9月6日(水)、20日(水) 午前9時30分～午後4時  
【場所】南方庁舎2階図書室  
【予約・問い合わせ】  
市民生活部市民生活課(戸籍係)  
☎ 0220(58)2118

## 4年ぶりに開催します 登米秋まつり

348年受け継がれる伝統の秋まつりを開催します。  
【日時】▼宵祭り 9月16日(土)午後2時～7時30分▼本祭り 17日(日)午前10時～午後4時30分  
【場所】登米町観光駐車場ほか  
【問い合わせ】登米秋まつり協賛会事務局(登米総合支所市民課内)  
☎ 0220(52)5051

## 秋まつりと同日開催 「登米新能」

伊達文化を今に伝える幽玄な世界をご堪能ください。

## 募集

### 環境教育リーダー 育成講座受講者募集

登米市の自然に親しみながら、環境教育および環境保全活動の基礎知識を身に付ける学習プログラムです。9月下旬から12月上旬まで、全4回の開催を予定しています。  
【日時】9月27日(水)午後2時～3時30分  
【場所】市役所南方庁舎2階シアターホール  
【講師】棟方有宗氏(宮城教育大学准教授)  
【受講料】無料  
【対象者】市内在住または在勤で20歳以上の人  
【定員】10人程度  
【申込期限】8月31日(木)  
※電話、ファクシミリ、電子メールで申し込みください  
【申し込み・問い合わせ】市民生活部環境課(環境政策係)

【入居資格】住宅に困っている世帯  
※市営住宅は低所得世帯であることなどの入居要件があります  
※詳細は住宅都市整備課または各総合支所市民課に備え付けの募集要項を確認ください  
【申込期限】9月1日(金)※期限厳守・郵送不可  
【申し込み】各総合支所市民課、住宅都市整備課  
【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(住宅係)  
☎ 0220(34)2316

【日時】9月16日(土)午後5時～8時  
【場所】伝統芸能伝承館「森舞台」  
【演目】能「橋弁慶」、狂言「附子」仕舞  
【入場料】A席3500円、B席2500円  
【後援】登米市、市教育委員会、ま振興公社  
【申し込み・問い合わせ】とよま振興公社  
☎ 0220(52)5566



## みんなで盛り上がる ふるさと夏まつり in 石越

吹奏楽や舞踊などのステイジイベントのほか、みんなが楽しめることも縁日コーナーもあります。  
【日時】9月2日(土)午前10時30分～午後2時30分  
【場所】石越小学校  
【問い合わせ】ふるさと夏まつり in 石越実行委員会  
☎ 080(3143)1500

### はっとフェスティバル 出店者募集

令和5年度「日本一はっとフェスティバル」の出店者を募集します。  
【日程】12月3日(日)  
【場所】迫中江中央公園  
【募集内容】①はっと料理PR販売コーナー／「はっと」に内容が類似または呼称が類似する郷土料理／市内の団体および市内で飲食店を営む事業者  
②地場産品販売コーナー／登米地域で生産されている農林水産物、加工食品、工芸品、その他の特産品／市内事業者  
※詳しくはホームページをご覧ください  
【申し込み・問い合わせ】日本一はっとフェスティバル実行委員会事務局(登米市観光物産協会内)  
☎ 0220(52)4648  
✉ info@tome-city.com

DAIYU HOME CENTER 登米中田店  
収穫用品各種 大量入荷しました!!

100円ショップ 好評営業中!  
Watts with

DAIYU HOME CENTER 登米中田店  
税抜3,000円以上お買上げで 毎月8のつく日 毎週土曜日 5倍ポイント

DAIYU HOME CENTER 登米中田店  
宮城県登米市中田町石森字駒ヶ400  
TEL 0220-23-9433

### 五島電機

電気工事・オール電化工事・電気通信工事  
太陽光発電設備工事・IH、エコキュート・消防設備工事・点検

登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1  
TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

### KUMANEN 熊谷燃料住設株式会社

エネルギーに夢をのせて・・・クマネンドリームガス

快適生活 創造企業  
災害時安定供給施設

DRIM-KUN  
■コインランドリー・清潔空間  
■BFCクマネン  
■なごみの家きらり  
■網ネオウイング  
■燗ケアサービス

TEL.0220-22-2415(代)

## 登米祝祭劇場 9月のイベント情報

開催日	内容	問い合わせ
3③	●プロレスリングDEWA タッグトーナメント2023 【開演】午後1時30分 【会場】小ホール 【入場料】無料	プロレスリング DEWA ☎ 023(631)0894
8⑤ ~ 10⑥	●写団登米写真展 【時間】午前9時~午後6時 (10日は午後5時まで) 【会場】小ホール 【入場料】無料	写団登米 ☎ 0220(22)7689
9④ 10⑥	●劇団ドリーム☆キッズ 第21回ミュージカル公演 「ゆらゆらさらら ~川の歌、大空へ~」 【開演】9日=午後6時 10日=午後2時 【会場】大ホール 【入場料】大人1000円/小中高 生500円/未就学児200円	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
18⑧ (祝)	●Fly to the future 【開演】午後1時30分 【会場】小ホール 【入場料】3500円	うたカフェ ハニービー ☎ 090(6789)6423
29⑤	●登米市小学校音楽文化祭 【開演】午前9時20分 【会場】大ホール 【入場料】無料	石森小学校 ☎ 0220(34)2343
30⑥	●ふるさとコンサート 【開演】午後1時30分 【会場】小ホール 【入場料】無料	山形大学社会文化 創造研究科(阿部) ☎ 080(5730)3243

※9月の休館日は、4日、11日、19日、25日です

## 第31回宮城シニア美術展 作品募集

【募集作品】日本画、洋画、書、写真、工芸の5部門  
※出展は各部門1人1点  
【テーマ】自由  
【応募資格】県内在住で60歳以上のアマチュアの人  
【出展申込料】1作品千円  
【申込期限】10月31日(火)  
【展示会場】せんだいメディアアテック・東京エレクトロンホール宮城  
【展示期間】12月23日(土)~25日(月)  
※各部門専任審査員が審査します  
※優秀作品は、令和6年開催予定の「ねんりんピック」はばたけ鳥取2024「美術展部門」へ出展します  
【申し込み・問い合わせ】宮城県社会福祉協議会いきがい推進課  
☎ 022(2223)1171

## みやぎ花のあるまち コンクール

花づくりや緑の育成を通して、地域づくりや人々との交流をしている団体を募集します。  
【対象者】地域や職場などの団体  
【日時】9月3日(日)午前9時~正午  
【場所】津山若者総合体育館、津山運動広場  
※一般駐車場は旧柳津小学校校庭  
【問い合わせ】総務部防災危機対策室(危機対策係)  
☎ 0220(23)7393

【応募方法】所定の応募用紙に、花づくりや緑の育成を実施している状況が分かる写真を添えて、持参または郵送で提出してください  
【応募期限】9月8日(金)  
【申し込み・問い合わせ】すばらしいみやぎを創る協議会事務局(県共同参画社会推進課内)  
〒980-8570/仙台市青葉区本町3丁目8番1号  
☎ 022(211)2576

## カップハーフマラソン ボランティア募集

【日時】12月3日(日)午前7時~正午(予定)  
【場所】登米総合体育館(とよま蔵ジウム)  
【活動内容】①走路係②マラソンコースの交差点で、選手と一般の人を誘導します③給水係④コース上に設置している給水ポイントで、選手用の水などを準備します  
※その他の係に従事する場合もあります  
【応募資格】18歳以上  
【申込期限】9月30日(土)  
※スタッフには昼食とスタンプジャンパーを用意します  
【申し込み・問い合わせ】カップ



パーフマラソン実行委員会事務局(とよまスポーツクラブ蔵っこ)  
☎ 0220(53)1155

## ねんきんだより

国民年金保険料の臨時特例申請  
新型コロナウイルス感染症の影響により収入が下がった場合は、臨時特例措置として所得見込額を用いた簡易な手続きにより、令和4年度分までの国民年金保険料免除の申請が可能です。また、学生についても、収入が下がった場合は、同様に本人申告の所得見込額

## お知らせ

### 市総合防災訓練を実施します

自主防災組織の防災力向上を目的として、近年激甚化をたどる風水害を想定したさまざまな訓練を実施します。災害時用食料品の配布や消防車両などの展示コーナーもありますので、気軽にご来場ください

### 地域の集会施設の建設や改修を支援します

地域コミュニティや自主防災組織の活動拠点などとして公益性が高い集会施設の環境整備を促進するため、令和6年度に実施する集会施設の建設や改修費用の一部を補助します。  
【対象事業】①集会施設の建設・購入②集会施設の修繕・模様替え(バリアフリー化を含む)、増築  
【補助率・限度額】補助率2分の1以内①建設・購入②1千万円③修繕・模様替えなど④250万円  
【対象外経費】①門、柵、植樹などの附帯工事費・購入費②用地の取得費③既存の建物の解体費④備品購入費など  
【要受付期限】10月2日(月)  
※スケジュール、対象経費などは事前に相談ください  
※補助率・上限額などは変更する場合があります  
※要望金額の合計が予算額を超えた場合、優先基準に基づき補助団体を決定する場合があります  
【申し込み・問い合わせ】まちづくり推進部市民協働課(市民活動支援係)  
☎ 0220(22)2173

<p>人と環境への新しい優しさを目指して お気軽にご相談下さい</p> <p>株式会社 清建 TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658</p>	<p>環境プロバイダ 株式会社 清建物流 TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535</p>	<p>株式会社 リースキン宮城 TEL.0220-22-3431 FAX.0220-22-3495</p>	<p>厚生労働大臣許可 指定居宅サービス事業所 株式会社 はさま看護婦・家政婦紹介所 すずらん保育園 TEL.0220-22-8064 FAX.0220-23-2728</p>
--	--	---	--

一日一組限定の特別な空間

株式会社 市民葬祭 誠香社  
24時間受付  
0220-34-4856(代表)

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

### 9月の納税

固定資産税・・・3期  
国民健康保険税・・・4期  
介護保険料・・・4期  
後期高齢者保険料・・・3期

忘れずに納めましょう  
納税は便利な口座振替で

納期限/10月2日(月)

### 登米市の人口・世帯数

(令和5年7月末現在)

地区	世帯数	人口(人)		
		男	女	計(前月比)
迫	7,680	9,412	9,876	19,288 (▲27)
登米	1,738	2,098	2,303	4,401 (0)
東和	2,221	2,739	2,798	5,537 (▲18)
中田	5,293	7,381	7,600	14,981 (▲24)
豊里	2,146	3,033	3,055	6,088 (▲4)
米山	2,792	4,103	4,173	8,276 (▲10)
石越	1,512	2,170	2,171	4,341 (1)
南方	2,733	3,915	4,109	8,024 (0)
津山	1,114	1,379	1,515	2,894 (▲6)
合計	27,229	36,230	37,600	73,830 (▲88)

※上記人口・世帯数には外国人住民も含まれています

### 市内の交通事故発生状況

(令和5年7月末現在) ※佐沼・登米警察署調べ

	R5	R4	増減数
人身事故発生件数	65件	54件	11件
死者数	0人	1人	▲1人
負傷者数	73人	61人	12人
物損事故発生件数	692件	708件	▲16件

※R5年1月からの延べ件数(前年同期と比較)

### 警察署からのお知らせ

シートベルトは事故の被害を大幅に軽減します。万が一の時に命を守るため、後部座席を含めた全席でシートベルトなどを正しく着用しましょう。

### 7月の災害件数

	火災	救急	救助
令和5年累計	1件 (41件)	388件 (2,229件)	4件 (23件)
前年同月	2件	338件	6件

※暑い日が続いています。「こまめな水分補給」や「エアコンの活用」など、熱中症予防の徹底をお願いします。

### ハローワークはさま発行求人情報

ハローワークははさまで発行している求人情報を掲載掲載日は祝日を除く毎週火曜日の午後3時です

### 相談

#### 障がい者の自立に向けてつとめ相談を開発

障がい者が、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、職業生活上の相談に応じます。

【日時】9月26日(火) ①午前9時30分 ②午前11時 ③午後1時30分 ④午後3時(要電話予約)

【場所】県東部保健福祉事務所 登米地域事務所

【申し込み・問い合わせ】福祉事務所生活福祉課(障がい福祉係)

☎ 0220(58)5552  
FAX 0220(58)2375

### 生活や仕事などの悩み相談に応じます

生活や仕事の悩み、心配事などの相談に、専門知識を持つ支援員が応じます。

【日時】9月12日(火) ②26日(火) / 午前10時～午後4時

【場所】①新田公民館 ②米谷公民館

【相談料】無料

【問い合わせ】そ・えーる登米

☎ 0220(23)8610  
FAX 0220(23)8665

### 調停手続相談会を開催します

調停委員が、調停手続きの利用についての相談を受け付けます。相談は無料で、秘密は厳守します。気軽にご利用ください。

【日時】10月22日(日) 午前9時30分～午後2時30分(事前予約不要)

### 寄付

ご寄付いただき、ありがとうございます。ごございました。(6月受納)

- 宮野浅太郎実行委員会様 / 東郷小学校用・車いす1台(6月1日)
- 有限会社小野寺運送様 / 市立小中学校、幼稚園(迫・米山・南方・中田地区)用・川砂96ト

ン(6月2日)

- 上杉恭弘様 / 登米市訪問看護ステーション用・ネットワークラバー32個(6月6日)
- 町区長寿会様 / 宝江小学校用・図書「日本の神話」全6巻セット(6月12日)
- 医療法人社団恭謹会上杉皮膚科医院様 / 市内子育て支援センター、児童館用・児童用図書252冊(6月20日)
- 株式会社太田組様 / 市内児童館用・サスマタ4セット(6月27日)
- 宮城北部流域森林・林業活性化センター登米支部様 / 木製テーブル2台(6月27日)

【問い合わせ】総務部総務課(総務係)

☎ 0220(22)2091

### 宝くじ助成事業を 実施しています

宝くじ助成事業は、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備などに助成し、地域社会の健全な発展と住民生活の向上に寄与します。

【問い合わせ】市民生活部環境課(環境政策係・生活環境係)

☎ 0220(58)5553



宝くじ助成事業の会場写真。宝くじの箱が積み重ねられており、市民協働活動のポスターが掲示されています。

☎ 0220(22)2173

### 聴覚障がい者支援 みみサポサロンを開催

聴覚障がいのある人やその家族、関心のある人誰でも参加できる「みみサポサロン」を開催します。手話や筆談など、安心できるコミュニケーション手段で対応します。

【日時】9月11日(月)

【場所】市役所南方庁舎(2階)

### 登米市産のリンゴで ジュースを作りますか

県立学校などの有する優れた教育機能を地域社会に開放して講座を展開している「みやぎ県民大学」の学校等開放講座を開催します。登米市産のリンゴでジュース作りを体験してみませんか。

【申し込み・問い合わせ】登米総合産業高校農業科

☎ 0220(34)4666  
FAX 0220(34)4666  
E: tomesou@od.nyswan.ed.jp

【申し込み・問い合わせ】登米総合産業高校

【対象者】県内在住の人

【定員】10人

【参加料】無料

【申込期間】9月1日(金)～29日(金)

【申込方法】氏名、性別、年齢、住所、職業、電話番号を記入の上、電子メールで申し込みください。

### 9月13日は 市民環境の日です

市は、環境を守り、次世代に受け継いでいくため、9月13日を市民環境の日と定めています。▼市では、「脱炭素チャレンジ事業」を開催しています。地球温暖化防止のため、省エネなど、できることから取り組みましょう。詳しくは市公式ホームページをご覧ください。▼9月は県の不法投棄防止強化月間です。廃棄物の不法投棄は法律で禁止されています。不法投棄をしない、させない、許さないという意識を持ちましょう。▼野焼きは、農業・林業を営むためのやむを得ない焼却など一部の例外を除き禁止されています。例外行為であつても、煙やにおいで周辺住民に迷惑を及ぼす行為はやめましょう。

### 令和5年度の採択状況

一般コミュニティ助成事業4件  
▼フォールディングテーブル、スタッピングチェアなど110万円  
▼液晶テレビ、ノートパソコンなど170万円  
▼ブルーヒーター、折りたたみテーブル160万円  
▼折りたたみテーブル、ミーティング用チェアなど120万円

※令和6年度の助成希望団体を募集しています。詳しくは市公式ホームページをご覧ください

### インボイス制度説明会・登録要否相談会

佐沼税務署では、事業者を対象に消費税のインボイス制度説明会および登録要否相談会を開催します。登録要否相談会は、インボイス制度説明会後に引き続き開催します。

【日時】9月14日(木) ②19日(火) / 午後2時～4時

【場所】佐沼税務署(1階会議室)

【対象者】①主に消費税の課税事業者 ②主に消費税の免税事業者

【定員】各10人(先着順)

※開催日の1週間前までに申し込みください。定員になり次第、受付を終了します

【申し込み・問い合わせ】佐沼税務署

☎ 0220(22)2501

### 大会議室

【内容】保健師、栄養士による健康課題や生活習慣についての講話、簡単な健康づくり体験の紹介

※申し込みは不要です。当日会場にお越しください

※盲ろう者通訳を希望する場合は事前に連絡してください

【その他】福祉事務所では、月・火・金曜日に手話通訳相談員を配置し、意思疎通の仲介や手話講習の講師、手話通訳者・要約筆記奉仕員の派遣などを行っています。詳細は問い合わせください

【問い合わせ】県聴覚障害者情報センター(みみサポみやぎ)

☎ 022(393)5501  
FAX 022(393)5502

▼福祉事務所生活福祉課(障がい福祉係)

☎ 0220(58)5552  
FAX 0220(58)2375



宝くじがネットで購入できる! 宝くじ公式サイト

宝くじの収益金は、明るく住みよいまちづくりに使われます

お問い合わせ先 | 宝くじコールセンター | TEL 0570-01-1192 (ナビダイヤル 有料) | TEL 011-330-0777 (有料)

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

# ときめき人

Tokimeki bito



## 平筒沼いこいの森 見守り隊

隊員を随時募集しています。居住地は問いません。  
【申し込み・問い合わせ】  
吉田コミュニティ運営協議会 ☎ 0220(55)2124

米山町吉田地区、平筒沼を望む「平筒沼いこいの森」。整備された遊歩道を進んでいくと、天然のアカシデやカタクリなど、貴重な植物や野鳥を観察することができ、カモシカや野ウサギなどの野生動物も多く生息する。

平筒沼いこいの森見守り隊(伊藤昭一代表)は、2010年に発足。現在、14人の隊員が交代で月2回、森の中をパトロールし、倒木の確認や希少植物の盗掘防止、散策に訪れた人へ森の楽しみ方を伝えるなどのボランティア活動を続けている。「県内外からたくさんの方が、自然を求めてこの森を訪れます。リピーターも少なくありません。また、市内小学生の自然学習にも利用されています。ここで生まれた交流は、活動を続けていく上で大きな

支えになっています」と話す隊員の皆さん。

倒木や笹竹の繁殖が進むと、来訪者の安全を確保できなくなるほか、森に光が入らないことで山野草の成長の妨げになることも。市と連携して環境整備の一端も担っている。「自然を守っていくためには、ときに人の手助けが必要となります。共存していくことが大切なんです」隊員が集まると、環境保全について意見を話し合う。

いこいの森の自然と地域コミュニティに魅せられて活動に参加している隊員も多く「吉田地区には、地域のためにできることをやろうという、ひたむきな気持ちを持つ協力者が多いと感じます。地域の宝を守り、後世に伝えていくために、活動の輪を広げていきたい」と呼びかける。

## 編集後記

▼ふれあいあじさいまつりを取材。あまりの暑さに少し歩いただけでも、汗があふれ出てへとへとに。そんな私の脇をこどもたちは元気な声と笑顔を見せながら走り抜けて行きます。自分の幼いころを思い返すと、暑さを感じず、はしゃいでいた時があったと懐かしく思いました。(木戸浦)

▼まちの若い衆で取材した伊藤さんの趣味は筋トレ。私も体力を付けようとして筋トレを本気で始めてみました。その結果、背中を痛めて転がることも起き上がることも苦勞するほどの激痛に襲われて悶絶。その時に思い浮かんだのは「何事もほどほどに」という言葉。身に染みて実感。(高橋)

▼集合写真の撮影で「はい、チーズ」の代わりに「はい、ずんだもち」と合図しているカメラマンがいたので、まねするように。今回も「ずんだもち」している写真があります。さてどれでしょう。ちなみにカメラのこちら側も「いー」ってなっています。(渡邊)



登米市公式ホームページ

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴うイベント中止などの情報は市公式ホームページでお知らせしています。) <https://www.city.tomiyagi.jp/>



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント、市政に関する情報をメールでお届けします。) <https://mail.cous.jp/tomecity/>